

雫石町 - 四季折々の行き先

岩手県西部の山間部に位置する雫石町は、岩手山をはじめとする複数の山に囲まれたスノースポーツのメッカです。暖かい季節には、美しい自然の中でトレイル・ハイキングなどのアウトドアを楽しむことができます。また、温泉や伝統工芸品、地元産の果物や野菜なども充実しています。

小岩井農場

岩手山の麓にある小岩井農場は、1891 年に設立された日本最大級の民営農場で、約 3,000 ヘクタールの敷地を有しています。小岩井農場は、1891 年に設立された日本最大級の民営農場であり、雫石町の酪農の歴史や、国の指定文化財である農場の建物を見学しながら、家族で楽しむことができます。小岩井農場の乳製品は全国で販売されており、農場レストランでは様々な料理が提供されています。

持続可能な農業の先駆者

小岩井農場は、持続可能性の原則と環境への配慮に基づいて設立されました。小岩井農場は、3 人の実業家が力を合わせて設立したもので、当初の目的は地域の食糧生産を促進することでした。農園の名前は、3 人の名字を組み合わせたものです。「小」は日本鉄道副社長だった小野義眞、「岩」は三菱商事社長だった岩崎弥之助、「井」は鉄道庁長官だった井上勝と、それぞれの名字を組み合わせたものだ。井上を中心に、3 人は土壌改良、植林、牧草地の整備に取り組み、今日の緑のオアシスの基礎を築いたのである。1899 年、岩崎弥之助の甥である岩崎久弥が経営を引き継ぎました。小岩井農場は、現役の酪農家として発展し、農林畜産業のリーダー的存在となりました。

家族で楽しめるアクティビティ

小岩井農場で観光客に開放されているメインエリア「まきば園」では、子供から大人まで楽しめるアクティビティが用意されています。ポニーやウサギへの餌やり、羊の群れの観察など、動物との触れ合いを体験できます。また、アーチェリー、乗馬、馬車、トラクターの引く馬車などの体験もできます。また、アート&クラフトセンターでは、世界にひとつだけのお土産を作ることができます。

酪農の昔と今

日本の商業酪農の歴史は比較的浅い。日本で最も古い 2 つのサイロや 6 つの牛舎など、敷地内の歴史的建造物の多くが国の重要文化財に指定されています。これらはすべて 1898 年から 1936 年の間に建設されたもので、そのほとんどが現在も使用されています。上丸牛舎エリアでは、乳牛や子牛を間近に見ながら、現在の酪農の様子を知ることができます。博物館では、小岩井農場の歴史を知ることができ、創業当時の様子や 100 年以上前の農機具や写真などが展示されています。

産地直送食品

小岩井農場で生産される食品は特別な魅力を持っています。レストランのメニューには、あらゆる種類の農産物が紹介されています。小岩井農場では、牛や羊のほかに鶏も放し飼いにしており、その卵を使って、ふわふわのオムレツをご飯で包んだ「オムレツ」が看板メニューになっています。他にも、ミルクベースのクリーミーなスープのラーメンや、地元の牛肉や羊肉を使った料理など、特徴的なメニューが揃っています。デザートには、ソフトクリームやチーズケーキなどがあります。ファームショップでは、牛乳、チーズ、バター、卵、ジャムなど、小岩井のあらゆる商品を取り扱っています。

自然との調和

小岩井農場は年間を通して魅力的な場所で、どの季節にも見所があります。中でも春は、岩手山を背景に咲き誇る桜が絶好のシャッターチャンスとなり、人気を集めています。その中でも、100 年以上前から牧草地に立っている「孤高の桜」は、観光名所にもなっています。この木は、牧場で最初に飼われた牛たちの日陰を作るために植えられたもので、今では高さ 20 メートルにもなります。

小岩井では、動物や人間の生息環境を守るために、広大な森林を整備しています。学校などの団体を対象に、森の中での自然活動を体験しながら、環境を守り、次世代に残すことの大切さを学ぶプログラムを提供しています。